

4 次の文章を読み、設問に英語で答えなさい。

わたしはかねがね、芸術の仕事とはカナリアのそれのようなものではないかと思ってきました。

炭鉱では、カナリアの入った鳥籠を先頭に掲げて入坑すると聞きます。異臭に、あるいはノイズに、ヒトよりうんと敏感で、だから炭鉱でもそのような異変にヒトより先に反応するからです。環境の、社会の、微かな異変、あるいはその微候に、濃やかに感応する……。人が芸術家に期待しているのもそういうものではないでしょうか。感じやすいというのは、傷つきやすいということでもあります。傷つきやすいというのは、他の人びとの押し殺された声、いまにも途切れそうな、消え入りそうな小さな声が聞こえるということでもあるのです。芸術にはそういった深い慈しみや包容力もあります。

もう一つ、芸術家は、何ごとも、用意されたマニュアルどおりにおこなうことをよしとしません。何かに問題を感じたとき、どう判断したらいいか、どう対処したらいいかがよくわからないまま、しかし「感触」や「手ごたえ」といった身体感覚をたよりに、世界を、時代を、自分の手でまさぐろうとします。たとえ「想定外」のことが起こっても、とりあえずは周りのありあわせの物でなんとかやりくりして対処しようとする。食う、着る、住まうといった、人のもっとも基本的な必要に思いもよらない事態が生じて、手許にある素材でなんとか繕おうとする。そうした手業に長けているのが芸術家です。

(鷺田清一『岐路の前にいる君たちに—鷺田清一 式辞集』2019年より)

設問 Describe the two things that the author believes an artist is good at in about 70 words.

4

The author believes an artist can respond really well about our environment, society, little change and its symptom.

Also, they don't like doing something according to the manual prepared in advance.

They are able to try to overcome the unexpected accident in our daily lives using material we can get immediately.

So, they are good at trying to find out depending our physical sense.